

密を避けて行動を抑制してください!

換気の悪い密閉空間

多数が集まる密集場所

間近で会話や発声をする密接場面



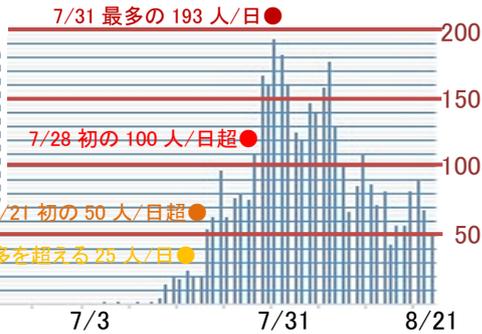
緊急事態宣言 第2波 解除



新型コロナウイルス感染症第2波

新型コロナウイルス感染症の第2波は、東京等から大都市圏域へと拡大し、愛知県においても7月15日に16人の感染者を出して以降、急激に増加を続け7月31日に過去最多の193人に達するなど極めて厳しい状況が続いたため、7月21日に警戒領域、29日には嚴重警戒として、20代・30代の若い世代に不要不急の行動自粛、事業者へ感染拡大ガイドラインの遵守徹底、東京等への不要不急の移動自粛をお願いしました。また、8月2日には接待を伴う飲食点等でクラスターが発生したことを踏まえ、栄・錦地区での営業時間短縮等を要請、お盆休み期間(帰省)を控え緊急事態宣言(8月6日から8月24日まで)を発生、宣言は解除ですが引き続き行動の自粛などお願いしています。

第2波(7月以降)の特徴は、第1波(2月~4月)の感染者数に占める重症・中等症の割合が32.0%に対し10.0%、30歳代以下が58.9%(第1波34.2%)、感染経路不明約52%(同25.6%)です。ただし8/2時点の重症・中等症の割合4.9%、30代以下69.5%より明らかに数値は悪化しています。PCR検査能力は5/10時点の1日300件に対し7月末1,472件、10月末見込み1,963件と拡充します。



日別感染者数(人) 2020年8月23日現在

判断基準となる新たな指標を導入

旧基準の警戒(イエローゾーン)の前に注意(グリーンゾーン)を設定、旧の危険領域を嚴重警戒(オレンジゾーン)とし危険(レッドゾーン)の基準を見直し等

基準項目	注意(警戒)領域		危険領域	
	注意(グリーンゾーン)	警戒(イエローゾーン)	嚴重警戒(オレンジゾーン)	危険(レッドゾーン)
(1) 新規感染者数(過去7日間の平均)	10人未満	10人	20人	40人
(2) 陽性率(過去7日間)(陽性率/検査者数※1)	5.0%未満	5.0%	10.0%	20.0%
(3) 入院患者数(過去7日間の平均)	150人未満	150人	250人	500人
参考項目				
入院患者のうち重症者数※2(過去7日間の平均)	7人未満	7人	12人	26人

※1 陰性確認の検査を除いた人数
※2 人工呼吸器、EOMO装着者又はICU入室者。新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム(G-MIS)の報告数による。各ゾーンの重症者数は愛知県の患者推計に基づく病床確保計画の各フェーズの重症入院患者数(推計値)

東海北陸自動車道一宮稲沢北IC

東海北陸自動車道へのアクセス強化とともに県道岐阜稲沢線の渋滞緩和を目的に、稲沢市から北へ約2.2kmの位置に建設中の西尾張IC(仮称)の名称が一宮稲沢北インターチェンジに決定しました。15箇所の信号交差点を通過することなく東北自動車道へアクセスが可能となります。今年度開業です。



※一宮稲沢北ICから名神高速道路へ乗り降りにはできません

新濃尾大橋架橋促進期成同盟会通常総会

愛知県の尾張西部地域と岐阜県の羽島及び西濃地域は尾州産地として古くから密接に繋がっていますが、濃尾大橋を中心に慢性的な渋滞となっているため新濃尾大橋(新幹線から南側に見えます)の完成が待たれています。10箇所の橋台橋脚の残りの1脚も今年度中に完成予定で、いよいよ秋から愛知県側の4径間の上部工の準備工事が始まります。現地見学では決定した色見本(瑠璃るり色)を確認しました。総工費290億円のビックプロジェクトの完成は令和5年度の予定です。



STEP 21 県政 REPORT

2020 R02 鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24 2008
新政あいち県議団 すずき純 Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp



愛知県 WEB 物産展「あいちの食と物産マルシェ」
 地域応援企画として楽天市場の通販サイトに特設ページを開設、農林水産物や観光物産品が**3割引きのクーポン**を発行、第2弾は9月上旬～中旬の2週間(第一弾のクーポンは公表につき終了、来年1月まで毎月開催)

■新政あいち県議団重点事業等調査研究会

8月4日から7日の4日間に亘り新政あいち県議団として各局の重点事業等について聴取しましたので何点かご報告します。

●次期あいちビジョン等について

現行のあいちビジョン2020に代わる次期ビジョンは7月に骨子案が公表されました。骨子案の**2040年頃の社会経済の展望**では、①感染症・災害・犯罪リスクの増大、②人口減少の進行、人生100年時代の到来、⑦第4次産業革命の進展、⑧スーパー・メガリージョンの形成など10のポイントが、**目指すべき愛知の姿**では、①危機に強い愛知、②すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知、③イノベーションを創出する愛知、④世界から選ばれる魅力的な愛知と続きます。9月には素案の公表、その後パブコメを経て11月頃策定予定です。

また、同様に計画期間が完了する、法改正により地域共生社会の実現を目指すこととされた**健康福祉ビジョン**～2026年、障害者計画～2026年、障害福祉計画～2023年、高齢者健康福祉計画～2023年、あいちオレンジタウン構想アクションプラン～2023年、**教育振興基本計画**～2025年、**食と緑の基本計画2025**など各種計画を策定します。

●交通安全対策について

昨年の交通事故死者数は156人で、各位のご協力により2003年から16年続いた全国ワースト1位を17年ぶりに返上しましたが、本年上半期の交通事故発生状況は人身事故件数が前年比-3,426件、22.2%減の11,991件と減少傾向が続くものの、**交通事故死者数は76人と前年比+16人、26.7%増**となっています。コロナによる交通量の減少に伴う速度超過が原因と思われる死亡事故の増加も原因と思われます。第10次愛知県交通安全計画の目標は2020年までに死者数155人以下、死傷者数39,000人以下です。

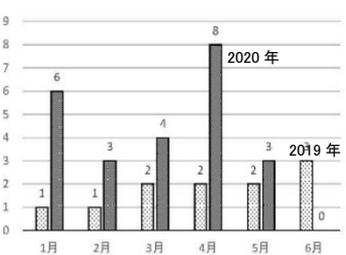
●交通事故死者数①及び人身事故件数②(上半期)



●交通量の変化 (台) (県内の主要道路1日平均)



●四輪・自動二輪(第1当事者)の速度超過による死亡事故別発生状況 (件)



■愛知県私学協会榊新会長との意見交換会



県民環境部会主催で新しく愛知県私学協会の会長に就任された榊会長(東邦学園理事長)をお迎えして意見交換会を行いました。講演では**少子化や生徒の多様化**など①教育界を取り巻く環境と公私問わず向き合うべき課題、**高校の生徒募集や公立入試「複合選抜制度」**など②愛知県私学協会の加盟校からみた課題について拝聴しました。鈴木からはIT社会が急激に進展する現在・近未来において、(幼)小中高・大学等の中での高校教育の役割について質問しました。協会は県内の私立中学校21校、高等学校55校(46学校法人)で組織する団体で、高校の募集定員の3分の1を私学に協力頂いており県では私学全体に600億円ほど予算化しています。

知らないうちに、拡めちゃうから。(写真は7月3日に私学協会を訪問した時のものです)

STOP! 感染拡大
 — COVID-19 —
 いなざわ夏まつりや敬老式等まだイベントは中止の状況です
 9月18日～県議会開会
 21日～秋の交通安全運動



■ジブリの大じゃない博覧会

愛知県美術館で開催されているジブリの大じゃない博覧会で県が2022年秋に開業予定のジブリパークの模型を見学しました。エレベーター塔やジブリの大倉庫の模型、パネル展示は撮影禁止でしたが他のコーナーは撮影可能で楽しい展示で思わず写真撮影。非常事態宣言は24日までですが博覧会は9月3日まで開催予定ですのでコロナの状況をみながらですが是非お出かけ下さい。



コロナ禍だからといい国会が開かれませんが所属している国民と立民の新政党問題、下野した時に10年我慢して2大政党制を目指してほしいとお願いしましたが選挙前のいつものゴタゴタのようで残念です。総理は我慢せずに必要なら治療を…**未来へつづくまちづくりへ**一生懸命動きます。愛知県議会議員 **鈴木じゅん**